

第21期第17回常任理事会議事録

日時 昭和57年1月18日(月) 9.45~12.20
 場所 東京管区気象台第一会議室
 出席者 岸保, 小平, 浅井, 荒井, 内田, 河村, 杉村,
 竹内, 二宮, 増田, 村山, (武田)

報告

- [庶務] 1. 12月21日(財), 日本科学技術連盟から,
 第4回有限要素法による流れ解析国際シンポジウムの計画概要について案内がきた(7月26~29日 中央大学理工学部春日校舎).
 2. 1月4日, 札幌管区気象台 若原勝二会員より, 昭和55年度奨励賞に対する研究報告がきた.
 3. 中部支部長から, 昭和56年日本気象学会秋季大会について報告がきた.

[会計] 選挙管理委員会から要求があった次期役員選挙のための経費は, これを予備費から支出することが提案され, 了承された.

[講演企画] 中部支部長から, 大会参加者の振替申込みが少なかったこと等に関連して, 今後大会参加者は振替で申し込むことを原則とすること, 及び申込期限は, 従来の1か月前を15日前とすることについて意見が寄せられた.

議題

1. 100周年記念事業について
 (1) 講演依頼者の選定について
 畠山久尚名誉会員に特別講演をお願いすることになった.
 (2) シンボルマークの選定について
 7点の応募があった. 募集要領に従って次の選考委員に一任することが了承された.
 松本誠一, 増田善信, 村山信彦, 杉村行勇, 河村 武 各理事
 (3) 「気象集誌」特別号の書店扱い価格について

業者から見積書を取っており, 次回に決めたい.
 (4) 熱帯気象学に関する地域科学会議の実行委員会について

委員として, 気象庁企画課, 電子計算室から各1名, 東京大学2名, 気象研究所から数名推薦してもらい, 実行委員会を発足させることが了承された.

(5) 外国の関係機関への招待状(案)が了承された.

(6) 100年史について

河村理事から次のとおり内容の説明があり, 原案が承認された.

ア) まえがき(0.5P), イ) 通史, 75年までの主要な事項と最近25年の気象学会の沿革について(10~12P), ウ) 1958年以後の大会発表論文数から見た研究の変遷(4.5P) 担当 奥田稜, エ) 学会の国際活動(5P) 担当 丸山健人, オ) 年表(8P), カ) 口絵写真, 人物その他(4P), キ) 資料(役員名簿, 定款変更等)

2. 第4回有限要素法による流れ解析国際シンポジウムの後援について

きたる7月26~29日に中央大学理工学部春日校舎(文京区内)において開催される標記シンポジウムを後援することを了承.

3. その他

(1) 長期計画委員会の報告について

長期計画の担当理事の武田喬男氏から, 気象学長期計画の経過と評価について説明があった. 詳細については「天気」に掲載する.

(2) 気圧単位の改定について

内田理事から次のとおり報告があった.

WMOの技術規則の改定でミリバールをヘクトパスカルに改める件は, 経緯を「天気」に掲載して会員の注意を促すこととしたい.

承認事項 長坂昂一ほか15名の新入会員を承認.

講演企画委員会からのお知らせ

日本気象学会昭和57年春季大会の大会委員長は宮崎正衛 会員となりましたのでお知らせ致します.